

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	14・38	職員の入居者、家族に対する関わりの中で、言葉遣いが不適切であったり、馴れ合いの声掛けになってしまうことがある。それぞれの場面に合った対応が出来ていない。	入居者に関して、認知症の特性を理解した上での声掛けができるように心掛ける。また接遇の改善を職員全員が積極的に向上させる話し合い、目標を立てる。外部研修に参加する機会を作り、職員の個々のスキルを高める知識や経験を身に付け、接遇の向上に努める。	定例会議や勉強会にて、接遇に関しての話し合い等により、振り返り、自己評価を行う。また普段から、職員同士のコミュニケーションを図る事により、業務中における不適切な対応に対して、お互いに戒めれる関係性を構築しておく。	12 か月	
2	20・21	昨年より、家族も参加して頂く外出イベントの企画、実施を行っているが、未だ参加人数が少ない状況である。入居者、家族、職員間において、コミュニケーションを図る場面を増加させ、相互理解を深めると共に、施設の成長に繋げる。	普段から、家族が来館し易い雰囲気づくりを心掛けると共に、職員に対し本音を言える環境を整備する。また声掛けやその他周知により、施設イベント時における家族の参加率を上昇させ、施設との交流、結びつきを深める。	施設の行事について、家族へ声掛けを行うと共に、運営推進会議、掲示物、新聞等での周知を行い、参加率の向上を目指す。また入居者、家族、職員皆で参加するバスハイクやピクニック、花見等といった外出行事を企画、実施する。	12 か月	
3	8	施設内部研修については、職員輪番制の下、二ヶ月に一回の頻度で開催しているが、外部研修への参加機会が少なく、必要な知識や実践力を習得し難い。	グループホームあやめ施設内外における研修、勉強会を充実させ、認知症、介護技術についての理解、実践力を養う。	認知症や身体拘束廃止、虐待防止等、外部研修への参加機会を増加させ、全職員の認知症ケアにおける意義、知識、技術といった能力を向上させる。	12 か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

## サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input checked="" type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input checked="" type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input checked="" type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input checked="" type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input checked="" type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input checked="" type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input checked="" type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input checked="" type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input checked="" type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input checked="" type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input checked="" type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input checked="" type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input checked="" type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input checked="" type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )